

平成30年3月13日

那須烏山市議会議長 渡辺 健 寿 様

経済建設常任委員会委員長 平塚 英 教

### 予算審査結果報告書

本委員会に平成30年3月6日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

#### 1 審査期日

平成30年3月7日（水）及び8日（木）

#### 2 審査場所

那須烏山市役所 南那須庁舎 議員控室

#### 3 出席委員

平塚英教、矢板清枝、久保居光一郎、高德正治、高田悦男、小森幸雄

#### 4 説明のための出席者

農政課長 菊池義夫、商工観光課長 石川浩、環境課長 薄井時夫、  
都市建設課長 小田倉浩、上下水道課長 佐藤光明、他関係職員

#### 5 審査事項

本委員会の所管する農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会  
の平成30年度那須烏山市の一般会計、特別会計及び水道事業会計の歳入歳出予算

#### 6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計、特別会計及び水道事業会計の予算については、全会  
一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望  
し、意見を付することとします。

#### **農政課**

- ・農業委員の制度が改正され、農地利用最適化推進委員が新設される。遊休地の対策、農地集積・集約、担い手の育成等の課題解決に向けた取り組みによる農業の振興、発展に

期待したい。さらに新年度から発足する鳥獣被害対策実施隊の活動については、十分に検討のうえ、被害の減少に向けて最大限の効果が上がるよう対策を講じられたい。

- ・ブランド力向上支援事業については、今後さらに本市の特産品を推奨し、ブランド力の向上に努めるとともに、新規就農者の増加に繋がるような方策を進められたい。

### **商工観光課**

- ・プレミアム付商品券発行事業は平成30年度で9回目を迎え、取扱店の減少などを踏まえ、事業の在り方を見直す時期と考える。事業実績の調査分析を十分に行うとともに、地元商業活性化やまちおこしに繋がるようにゼロベースから検討されたい。
- ・本市には雇用の場の拡大を進めるために誘致できる工業団地がない。遊休地を活用して民間企業を巻き込む手法など、発想を転換した事業を展開されたい。また、中小企業振興基本条例を具体化し、中小企業を支援し、若者が働く場所を作り出せる施策を本格的に進められたい。
- ・観光振興対策については、関係機関と連携し、市内に年間を通して誘客できる具体的な仕組みを作られたい。さらに、各課の事業で観光振興に繋がるものについては、商工観光課が積極的に関わり、全庁的な体制のもと最大限の投資効果が上がるような施策を講じられたい。

### **環境課**

- ・財政状況の厳しい中で、ごみステーションを増やすことは難しい。高齢化などの地域の実状を踏まえ、近隣住民の助け合いなど市民の理解と協力のもと、スムーズなごみ処理対策に取り組まれたい。
- ・空き家対策は、環境のみならず、防災、定住促進等広範囲にわたる取り組みが必要である。空き家対策を住宅政策と捉え、関係課が連携し、効率的な対策が取れるよう庁内体制の整備を図られたい。

### **都市建設課**

- ・市道の改良整備・維持管理、橋梁点検整備、地籍調査など都市建設課が取り組んでいる事業については、市民の要求に答える課題が山積している。厳しい財政状況の中で、今後とも、国県から財政的な支援が得られる方策の研究を進めるとともに、ふれあいの道づくり事業などで市民の協力を得ながら、最小限の財政負担で課題解決できるよう邁進されたい。

### **上下水道課**

- ・上水道事業において野上地区配水管布設替工事を実施するが、今後とも漏水問題を解消する本格的な対策を進められたい。また下水道の普及啓発については、特に烏山地区の新規接続を増やすための取り組みを引き続き強化されたい。
- ・公共下水道全体計画の縮小により、烏山水処理センターの規模も縮小され、当初予定されていた用地を未利用のままで保有している。様々な課題があることを考慮し、利活用について調査研究を進められたい。